

第 59 回

日 本 無 菌 生 物 ノートバイオロジー学会総会

日 程 と 抄 録

PROGRAM & ABSTRACTS

The Fifty-ninth Annual Meeting of
The Japanese Association of Germfree Life and Gnotobiology

January 30 - 31, 2026
Tokyo

President *Takako Osaki*

会 長 大崎 敬子
会 期 2026 年(令和 8 年)1 月 30 日(金), 31 日(土)
会 場 東京都三鷹市 三鷹産業プラザ

お知らせ

1. 一般演題の演者と共同発表者は本学会員であることを要します。未入会の方は学会事務所または総会当日の受付へお申し込み下さい。
2. 参加受付は会場入口受付にて1月30日（金）12：30、1月31日（土）9：00から行います（会場：三鷹産業プラザ 7階）。
3. 参加費は正会員 7,000 円、学生会員 2,000 円です。情報交換会費は 3,000 円です。会場受付でお支払いの上、お渡しする名札を胸にお付け下さい。
4. 記念写真は1月30日（金）演題終了後に撮影します。会場にいらっしゃる方全員のご参加をお願いします。機関誌「無菌生物」に氏名表をつけて掲載します。
5. 情報交換会は1月30日（金）18：20 から 701-2 会議室にて行います。ぜひご参加ください。
6. 一般演題は1題につき、発表8分、質疑応答4分です。時間厳守でお願いします。
7. プレゼンテーションは会場内パソコンと液晶プロジェクターにて行います。USB メモリなどでファイルをご持参ください。会場内パソコンの動作環境は Windows 11、Microsoft Power Point 2024 ですので、動作環境以外で作成の場合、あるいは動画をご使用の場合は、大会事務局に前日までにご連絡ください。
8. 質疑、討論される際には、所属と氏名を明らかにしてください。
9. 「佐々木正五賞」は一般演題の中から優秀演題を選考します。授与は1月31日（土）シンポジウム終了後に行います。
10. 発表の方は、機関誌「無菌生物」にプロシーディングとして掲載する原稿を当日受付または学会事務所へ2月末日までにご提出下さい。原稿執筆規定は、本冊子末尾に掲載されています。電子データ（および出力紙媒体）にてご提出してください。（原稿のご提出のない場合は本冊子の抄録を印刷します。）

第 59 回日本無菌生物ノートバイオロジー学会総会

会 長:大崎 敬子(杏林大学医学部予防医学教室)

会 期:2026 年(令和 8 年)1 月 30 日(金), 31 日(土)

会 場:三鷹産業プラザ

(〒181-8525 東京都三鷹市下連雀 3-38-4 TEL : 0422-40-9669)

常任理事会 :702 会議室

理事・評議員会 :701 会議室

特別講演、シンポジウム、技術セミナー、一般演題:703-705 会議室

記念写真撮影 :703-705 会議室

情報交換会 :701-702 会議室

日 程:

1 月 30 日(金)

10:30	11:30	12:30	12:45	13:05	14:20	15:45	16:00	17:00	18:00	18:20	20:00
常 任 理 事 会	理 事 ・ 評 議 員 会	開 場	開 会 の 辞 、 総 会	一 般 演 題 I	技 術 セ ミ ナ ー	休 憩	特 別 講 演	ミ ニ シ ン ポ ジ ウ ム	記 念 写 真 撮 影	情 報 交 換 会	

1 月 31 日(土)

9:00	9:05	9:55	12:00	12:10
開 場	一 般 演 題 II	シ ン ポ ジ ウ ム	佐 々 木 正 五 賞 授 与	閉 会 の 辞

連絡先:

総会会長 〒181-8611 東京都三鷹市新川 6-20-2

杏林大学医学部予防医学教室

第 59 回日本無菌生物ノートバイオロジー学会総会 大崎敬子

TEL:0422-47-5511(内 22249) FAX:0422-47-9855

E-mail:59jagg@ksot.kyorin-u.ac.jp

学会事務局 〒210-0821 神奈川県川崎市川崎区殿町 3-25-12

公益財団法人実中研

日本無菌生物ノートバイオロジー学会事務局 小倉智幸

TEL 044-201-8520 Fax 044-201-8521

E-mail:jagg@ciem.or.jp

プログラム

1月30日（金）

10：30－11：30 常任理事会（702 会議室）

11：30－12：30 理事・評議員会（701 会議室）

12：30－ 受付開始（703-705 会議室）

12：45－13：00 開会の辞 会長

総会議事

13：05－14：17 一般演題 セッションI

座長： 津田 真人（日本大学）・平山 和宏（東京大学）

1. 無菌マウスの自発運動量測定法の実証と性差の検討

○小島圭介，富山香代，何裕遥，野津量子，植野昌未，小倉智幸，高橋利一，林元展人
（公益財団法人 実中研）

2. 豚飼料中へのオキシテトラサイクリンおよび *Clostridium butyricum* MIYAIRI

588 の添加が豚糞便中の薬剤耐性菌および薬剤耐性遺伝子の消長に与える影響

○田口 遥規^{*}，中嶋 英子^{**}，峯村 采花^{*}，有吉 理^{*}，岡 健太郎^{***}，
高橋 志達^{***}，森松 文毅^{****}

（^{*}ミヤリサン製薬株式会社，^{**}徳島大学 研究支援・産官学連携センター，^{***}聖マリアンナ医科大学 グローバルワンヘルスネットワーク 寄附講座，^{****}徳島大学 生物資源産業学部）

3. *C. difficile* 感染症を発症した動物施設飼育コモンマーモセット（*Callithrix jacchus*）に対するアラビアガムの治療効果の検討

○重野佑布子
（理化学研究所脳神経科学研究センター研究基盤開発部門動物資源開発支援ユニット）

4. *Helicobacter suis* 感染によって誘導される胃粘膜の病理学的変化及び常在細菌叢への影響

○今井 龍一^{*}，石井 さなえ^{*,**}，大崎 敬子^{***}，三好 佐和子^{***}，
北条 史^{****}，徳永 健吾^{***}

（^{*}杏林大学大学院 保健学研究科，^{**}杏林大学 保健学部 臨床検査技術学科，
^{***}杏林大学 医学部 予防医学教室，
^{****}杏林大学大学院 医学研究科 共同研究施設部門 実験動物施設部門）

5. ビタミン K がマウス胆汁酸代謝ならびに腸内細菌構成に与える影響の解析

Kabir Tohfa*, 錦戸 迪哉*, 前川 正充**, Jahidul Islam***, Afifah Zahra Agista*,
○大崎 雄介*, 野地 智法***, 眞野 成康**, 何欣蓉*, 白川 仁*
(*東北大学大学院農学研究科 栄養学分野, **東北大学病院 薬剤部,
***東北大学大学院農学研究科 動物機能形態学分野)

6. 肺サルコイドーシス患者の下気道マイクロバイオータ 16S メタゲノム解析

○齊藤 正興*, 大崎 敬子**
(*杏林大学大学院医学研究科呼吸器内科学教室,
**杏林大学医学部予防医学教室)

14 : 20－15 : 45 技術セミナー

座長：高橋志達（ミヤリサン製薬）

ノートバイオロジーとプロバイオティクス研究

神谷 茂
(杏林大学)

がん研究に有用な T/NK 細胞共存型ヒト化マウスモデルの紹介

○花澤麻美*, 後藤元人*, 奈部川英樹**, 高橋利一*, 高橋武司*, 山本大地*, **, 鈴木雅実*
(*公益財団法人 実中研, **インビボサイエンス株式会社)

16 : 00－17 : 00 特別講演

座長：大崎 敬子（杏林大学）

IgA 抗体の役割と医療への応用

新藏 礼子
(東京大学定量生命科学研究所 免疫・感染制御研究分野)

17 : 00－18 : 00 ミニシンポジウム （共催：ミヤリサン製薬株式会社）

無菌生物ノートバイオロジー研究の新展開

座長：徳永 健吾（杏林大学）

プロテオミクスを応用した腸内研究最前線

「トリプシン分解腸内常在細菌の同定とトリプシン分解メカニズムの発見,
そして、ヒト新生児胎便研究への応用」

渡辺栄一郎
(北里大学医学部 一般・小児・肝胆膵外科)

炎症性腸疾患における幼少期微生物叢の影響

○三好潤, 和田晴香, 小栗典明, 根本展希, 松浦稔, 久松理一
(杏林大学医学部消化器内科学)

18:00-18:15 記念写真撮影 (703-705 会議室)

18:20-19:50 情報交換会 (701-702 会議室)

1月31日(土)

9:05-9:55 一般演題 セッションII

座長: 高橋利一 (実中研)・野地智法 (東北大学)

7. 無菌マウス消化管内内容物における *Helicobacter pylori* の生態と形態について

○北条 史*, 大崎 敬子**

(杏林大学大学院 医学研究科 共同研究施設部門 実験動物施設部門,

**杏林大学医学部予防医学教室)

8. 無菌マウスにおける造血・リンパ系の細胞構成の違い

○杉本 結子季*, 今井 龍一*, 大崎 敬子**, 石井 さなえ***

(*杏林大学保健学研究科保健学専攻臨床検査・生命科学分野,

杏林大学医学部予防医学教室, *杏林大学保健学部臨床検査技術学科)

9. 犬糞便菌叢の移植が無菌マウスの不安行動へ及ぼす影響の評価と不安原因菌種の探索

○天野 敬太, 平山和宏

東京大学大学院 農学生命科学研究科 獣医学専攻 獣医公衆衛生学研究室

10. 食物アレルギーにより変化した腸内細菌叢が IL-33 誘導性喘息に与える影響

○中台和也, 津田真人, 大西拓人, 細野朗

(日本大学生物資源科学部 食品開発学科)

9 : 55－12 : 00 シンポジウム
宿主に備わる細菌叢

座長： 石井さなえ （杏林大学）
米澤英雄 （東京歯科大学）

1. 腸内細菌叢の概要と疾病との関わり

岡 健太郎
(ミヤリサン製薬株式会社 研究開発本部 研究部)

2. ユニークなヒトの腔内細菌叢

相澤（小峯）志保子
(日本大学医学部病態病理学系微生物学分野)

3. 胃の細菌叢と胃がん

津川 仁^{*,**}
(*東海大学医学部・生体防御学領域,**東海大学総合医学研究所)

4. 鼻-腸-脳連関における鼻腔細菌叢の役割

石井 さなえ
(杏林大学 保健学部 臨床検査技術学科)

5. 口腔の微生物叢 ―細菌-ウイルス-宿主相互作用の観点から

今井 健一
(日本大学歯学部感染症免疫学講座)

12 : 00－12 : 10 「佐々木正五賞」表彰

閉会の辞

会場ご案内



●電車をご利用の場合

JR 中央線・総武線 三鷹駅南口より徒歩約 7 分

中央通り 3 つ目（三鷹産業プラザ東）の信号を右折

●バスをご利用の場合

バス停法専寺前下車 徒歩 1 分

京王線調布駅・仙川駅より(どちらも三鷹駅行き)

JR 三鷹駅より調布・仙川行きなど(2 番～7 番・一部の路線は法専寺前を通過しませんのでご注意ください)